

第1回 国際土木委員会 議事概要

1. 開催日時 : 平成 29 年 12 月 19 日 (火) 10:00~12:00
 2. 場所 : JACIC 3 階 AB 会議室
 3. 出席者 : 矢吹委員長、木下委員、石原委員、奥村委員、関谷代理、
山下委員、森田代理
尾澤事務局長、宮田事務局員、古屋事務局員、
宮本事務局員、横山事務局員
3. 議事概要
- (1) 委員長挨拶・自己紹介
第一回土木委員会の開催にあたり、矢吹委員長からの挨拶の後、名簿順に委員・事務局の自己紹介をした。
 - (2) 国際土木委員会設置報告
 - (3) 「国際土木委員会設置報告」にもとづいて、尾澤事務局長から報告があり、国際土木委員会の役割を確認した。
 - (4) 規約の改定について
 - ・第1条 (目的)
CIM と BIM for Infrastructure について・CIM や BIM に関して様々な場面で
() 括弧で注釈するのはややこしく、一方で、BIMforInfrastructure と3つの単語が入ると違和感がある、という意見があった。カタカナでインフラ、その後に英語で BIM と書くのであれば日本のコンテキストでもおかしくない、代替の意見があった。
 - ・第3条 (活動内容)
支援という言葉を入れ、「連携を支援、推進する」に修正する。
 - ・第4条 (委員会)
9 項は、「委員長、委員、または事務局長のいずれかが推薦し」とする。
第1条を除き規約の改定が承認された。第1条については改めて事務局で案を作成のうえ矢吹委員長と相談し、それが決まったら最終の規約改定とする。
 - (5) オブザーバーについて
国際基準を国内に広め、国内の基準を主張していくことに関して、オブザーバーの立場では弱いので、主要な団体は委員にしてはどうか、オールオーバーに関心がある団体は委員に、分野ごとに関心がある団体は専門委員ではどうか、という意見があった。
委員やオブザーバーを考えるにあたり、InfrastructureRoom の検討テーマ毎にワーキングや小委員会を作ることについて事務局より説明をした。
InfrastructureRoom の各検討テーマで日本が参画できていないところがあり、

SCOPE のような位置づけで参加して情報を共有してもらいたいという意見があった。

議論を踏まえて、鉄道や港湾分野も含め局内の関係部局や関係団体に対して、国土交通省技術調査課からお声掛けいただくこととなり、事務局にて委員、専門員、オブザーバーについて検討し、早急に委員長と相談することとなった。

(6) buildingSMARTInternational 国際会議参加報告

ロンドンで行われた国際会議の報告があり、質疑の中で、MOU を受ける条件として国内の受け皿が必要な点が示された。MOU を結ぶ際に提供できる資金や人を書かなければいけないことが説明された。

国際土木委員会の役割は、情報をきちんと伝えること、お手伝いできる部分があるが、あくまでも主体者が自分たちでお金も含めて交渉することと、事務局より説明をした。

(7) 今後の対応

■東京開催について

開催日程と、開催場所について説明があった

2018年10月16日(火)～19日(金)

16・17・18日 お台場 : プラザ平成、科学未来館

19日 溜池 : 赤坂インターシティエア

矢吹委員長から、ぜひ、日本の取り組みを紹介したいと思っており、早めに準備することと、要請があった。

以上